

今津運動公園

インクルーシブな子ども広場づくり

ワークショップ

第1回 NEWS

福岡市 住宅都市局 公園部 整備課

テーマ：今津・今津運動公園を知ろう！

令和6年10月12日（土）

福岡市では、今津運動公園で、子どもも大人もどなたでも、自分らしくのびのびと楽しめる「インクルーシブな子ども広場」づくりを進めています。今津運動公園内の「ちびっこ広場」を、障がいの有無や国籍・年齢などに関係なく、誰もが楽しめる遊び場に生まれ変わらせるため、地域や公園利用者、インクルーシブの専門家、公園管理者と一緒に話し合う「ワークショップ」を開催しました。

みんなで集まって自由に話し合い計画をまとめていく共同作業「ワークショップ」に、お子さまを含む8人が参加しました。誰もが楽しく過ごせる今津運動公園の子ども広場とはどんな場所なのか？今津の魅力を探しながら、新たな「気づき」や「あったらいいな」について、みんなで語り合いました。

対象地

今津運動公園内の「ちびっこ広場」（約6,000m²）が主な対象です。大きく成長した樹木や木陰などのみどりが多く、砂場の中の遊具や、小さな丘、ウォーキングができる園路、休憩所（パーゴラ）、トイレがあります。



ユニークな動物のオブジェ



大きく成長した樹木の木陰空間



今津運動公園とその周辺

ワークショップ全体の流れと当日のプログラム

■ワークショップ全体の流れ

第1回

今津・今津運動公園を知ろう！

令和6年10月12日（土）
10:00～12:00

「インクルーシブな子ども広場」ってなに？「今津・今津運動公園」はどんなところ？をお話ししました。みなさんの「こんな空間になったら」「こんな場所があれば」を出し合って意見をまとめました。



第2回

インクルーシブエリアの方向性を考えよう！

令和6年11月9日（土）
10:00～12:00

前回話し合った「こんな空間」「こんな場所」について事例写真を見ながら話し合います。その上で公園を歩き、そこでの「過ごし方」「楽しみ方」などを話し合います。



第3回

今津運動公園の将来を描こう！

令和6年12月14日（土）
10:00～12:00

「今津運動公園」をみんなが「行きたい」「使いたい」などにするためには、どうしたらいいのか、みなさんの意見を元に作られた整備案を見ながらどのような活動ができるのかをみなさんと話し合います。



■当日（10/12）のプログラム

- 10:00 はじめに
- 10:10 事業の概要
- 10:15 情報提供：インクルーシブとは？
- 10:30 自己紹介
- ワーク① ——
- 10:35 今津ってどんなところ？
- 11:05 〈休憩〉
- ワーク② ——
- 11:10 公園利用イメージの検討
- 11:40 まとめ・閉会あいさつ
- 12:00 〈解散〉



ワークショップの概要説明のようす

インクルーシブとは？

「障がいのある子どもたち」－保護者の視点から－ インクルーシブふくおか 上角智希氏

「デパートや映画館などの集客施設と比べると、公園はもともとインクルーシブな場所ですが、障がいのある子どもたちに対して配慮すべき課題がまだたくさんあります。障がいのある子どもが快適に過ごせる公園は、誰にとっても快適に過ごせる場所になります。

統計を見ると、福岡市の18歳未満の障がいのある子どもでは、身体障がいより知的障がいや発達障がいのある子どもが3倍多いです。遊具だけではなく、知的障がい・発達障がい・身体障がいなどの障がいすべてに配慮することが大切です。」



インクルーシブふくおか 上角氏

※インクルーシブ：性別・人種・民族・国籍・出身地・社会的地位・障がいの有無により排除されることなく包括・包含している様

今津ってどういうところ？

1. 福祉村が立地し、地域に溶け込んでいる

昭和45年、今津校区の住民と今津校区内にある福祉施設が協力し、全国で初めて今津福祉村を組織しました。この福祉村には障がい者支援施設、老人介護施設などが集まっており、地域の福祉を支える拠点になっています。また、住民同士の交流イベントも毎年活発に行われています。



今津福祉村の案内



福岡視力障害センター

2. 海と山の自然が身近に広がっている

松林は樹齢100年以上のクロマツが残り、気持ちのよい木漏れ日が差し込み、散策・サイクリングなどで地元の人々や観光客に人気のスポットとなっています。松林を抜けると柑子岳から毘沙門山まで広がる美しい長浜海岸へとつながります。



松林



長浜海岸

3. 重要な歴史遺産が残っている

今津は縄文・弥生時代から人々が暮らしてきた、歴史や文化が豊かな地域です。「今山」は縄文・弥生時代に石斧が作られていた製作所であり、人々の生活が分かります。鎌倉時代に元の侵攻から守るために博多湾に「元寇防塁」が築かれ、今も今津の長浜から見学できます。今津は伝統芸能も盛んで、明治時代からの「今津人形芝居」は地元の文化として今も受け継がれています。



今山遺跡



元寇防塁

今津運動公園ってどういうところ？

今津運動公園は、体育館・テニスコート・ジョギングコース・アスレチック広場・多目的広場などを備えた運動公園です。西区の豊かな自然を活用したレクリエーションの拠点づくりを目指してつくられました。



計画地内のクヌギの木陰



計画地内の遊具広場



計画地内を通る内周園路
(ウォーキングトリムコース)



※今回再整備を予定している計画地



リフレッシュロード (足ツボ)



計画地内の小さな丘



芝生広場

○普段、身近な公園などでどのように過ごしていますか？

- ・子どもたちも健康遊具で遊ぶことが多い（足つぼが人気）
- ・既存の丘（築山）は子どもが迷路や隠れ場所として使われている（丘に植わっている低木がちょうど子どもの背丈の高さ）
- ・幼児はちびっこ広場の遊具で遊び、小学生はアスレチック遊具で遊んでいる
- ・隣接する土のグラウンドのバスケットコートが人気



みなさんのアイデアを貼ったご意見ボード

○新しくなる「インクルーシブな子ども広場」でどのように過ごしたいですか？

暑さ対策

- ・夏場は遊具が熱くなり遊べない
- ・雨風の問題があり、室内遊具を置いてはどうか
- ・室内だと迷子にならない、安心・安全、雨天でも利用できる
- ・室内遊具は児童館にあるが気軽に行きにくい
- ・室内に大きな滑り台が欲しい
- ・水遊びができる場所はあれば良い（涼しく過ごしたい）
- ・遊ばなくても涼しさを感じられる場所が欲しい
- ・水遊びにはミスト、流れ、手押しポンプなどがあるが、ミストでは物足りない

素材

- ・遊具の素材を検討してほしい（金属製やプラスチック製の遊具は熱くなるため遊べない）
- ・木製・木製加工した材質の遊具が良い（近年では腐食しにくい木処理方法がある）
- ・木の上を歩ける空間があったら良い
- ・木は歩くと音がするので、視覚障がいのある人を安全に誘導することができるのでは（舗装により目的地へ導く）
- ・障がいのある方向けの遊具は発展しているが、一般の子どもたちには遊びにくい
- ・迷子が多いため、舗装の素材で道しるべをしたらどうか（1日に4件程迷子が発生）

危険を学ぶ（体験する）

- ・公園内のハチやヘビなどに接することで危険から学ぶことがある（危険（リスク）体験と安全性の折り合い）
- ・高い場所に登る体験をしてほしい（木登り・ボルダリングなど）
- ・一般的な遊具は安全面を重視していて、物足りない

子どもの遊び

- ・外遊びの良さ（自然）を活かしたい
- ・健康遊具と子ども遊具のバランスを考える
- ・利用者が多く、使えないで終わってしまわないように、コミュニケーションが取れると良い
- ・遊具の利用が集中しているため、分散型の配置が良い
- ・散歩・ウォーキング利用
- ・かわいい動物にもふれ合いたい
- ・シーソーとブランコがほしい
- ・ふわんポリンがほしい
- ・跳ねる遊び（ふわんポリン以外で何かないか）
- ・工作ができる場所がほしい（公園内にあるどんぐりを使ったどんぐり遊び）

施設・サイン

- ・安全に利用できる案内・サインなどの表示がほしい
- ・（近くに九州大学伊都キャンパスがあるため）外国人の公園利用が増え、国際化への対応をしていく必要がある
- ・トイレの優先度を考える必要がある（“だれでも利用できる”とは何か、使いたいときに使える仕組み）
- ・例えば、ベビーチェアは多目的トイレの中だけでなく、一般の男子および女子トイレの中に設置する



みなさんのアイデアを貼ったご意見ボード



インクルーシブふくおか 上角氏

「今津運動公園の築山がいつの間にかヤブになり、子ども達が歩いているうちに迷路のような隠れ家になっているという話を聞きました。障がいのある子どももない子どもも狭いところに隠れたりするのが好きらしいです。障がいの有無に関わらず、子どもが楽しめる公園には共通点がありそうです。」



今津校区自治協議会 会長 神武氏
今津福祉村 村長

「みなさんの意見・アイデアを参考にして、今津運動公園を立派な公園にしていきたいです。ワークショップを通して今津校区の観点からも考えていく機会となります。」



株式会社ランドスケープむら 徳永氏

「みなさんの意見・アイデアから、①夏の暑さ対策、②現状の遊び場にもインクルーシブ要素があるため、その良さを潰さない、活かす方法が必要、③「今津」だからこそつくる環境づくりという3つポイントが重要だと感じました。」

■ワークショップのようす



閉会



公園部整備課 中川係長

福岡市中川係長の挨拶で第1回ワークショップを閉会しました。「今後、今津運動公園をどのような公園にしていきたいのか、みなさんの意見・アイデアをたくさんいただきありがとうございました。この意見を参考に、計画に反映していきたいと思っています。」

次回のお知らせ

第2回

令和6年

10:00~

12:00

11/

9(土)

「インクルーシブエリアの方向性を考えよう！」

●お申込み方法 以下のいずれかでお申込みください

①QRコード

QRコードより参加申し込みができます。



②Eメール

①氏名 ②人数 ③ご連絡先（メールまたは電話）
④配慮が必要な事項（介助、子どもの見守りなど）
をご入力して、下記連絡先へお送りください。

✉ MAIL: kai.k07@city.fukuoka.lg.jp

③お電話／ファックス

TEL: 092-711-4410

FAX: 092-733-5590

当日のご参加もOKです！

介助が必要な方も、お子様連れも、大歓迎！

※ 安心してご参加いただけるよう見守りスタッフを配置します
※ お手伝いが必要な方は、事前にその旨お知らせください

アンケートのお願い

ワークショップにご参加いただけない方でも、ぜひ新しくなる今津運動公園の子ども広場についてのご意見をお聞かせください！
QRコードにアクセスして簡単な質問にお答えください。（所要時間3分程度）
これからの公園づくりのアイデアとして検討させていただきます！



[担当・お問い合わせ]

福岡市住宅都市局公園部整備課 甲斐・中川

TEL: 092-711-4410 MAIL: kai.k07@city.fukuoka.lg.jp